

活用方法1

語彙を増やし、必要な情報を読み取るための指導に対応

クイズや俳句・短歌作りを通して、新聞に親しみながら、必要な情報を読み取る

＜学習の効果＞ ～育成される資質・能力～

- 新聞クイズや俳句・短歌作りを通して、語彙を増やし、写真や文章から必要な情報を読み取る力が育成される。

学習指導要領との関連

国語 第5・6学年

〔知識及び技能〕

オ 思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。

〔思考力・判断力・表現力等〕

Ｃ 読むこと

(1) ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨をつかむこと。

ウ 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。

＜学習方法＞

クイズで伝える

「この記事、いいね！」 (15分×3回)

1 記事を選び、読む。(ワークシート)

(1～2までの活動を15分×2回 やり方がわかったら、児童のペースで進めます。)

- ① スクラップしておいた記事やストックしてある新聞から、友達に知らせたい記事を選ぶ。
- ② 5W1Hや初めて知ったこと、伝えたいこと等にサイドラインを引く、言葉の意味を調べる、言葉とその言葉の説明を矢印でつなぐ、□で囲むなどしながら記事を読む。

2020年7月24日山形新聞

金色ドジョウ連日発見
幼稚園児らアルビノ、1カ所2匹はまれ

庄内 庄内町の金目川が、めったにないといわれる、金色のドジョウが、連日発見されている。幼稚園児ら、金目の川で、金色のドジョウを見つけた。金色のドジョウは、めったにないといわれる、貴重な魚だ。金色のドジョウは、めったにないといわれる、貴重な魚だ。金色のドジョウは、めったにないといわれる、貴重な魚だ。

金色のドジョウを見結める園児
＝庄内町余目第四幼稚園

めったにない めずらしい

インタビュー

2 クイズに題名を付け、新聞クイズを作る。(ワークシート)

- ① クイズに題名(〇〇クイズ)を付ける。
- ② クイズを作る。
 - ・ 初めて知ったことや友達に伝えたいことを視点に、サイドラインなど、読み取りでチェックした中から、答えにする言葉や文章を決める。ワークシートに書き、線で結ぶ。
 - ・ 答えに合う問題をワークシートに記入し、記事の中の答えにする言葉や文章と線で結ぶ。

ここがポイント!

問題と答え、根拠の整合性を確かめます。また、問いにあった答え方になっているかも気を付けましょう。

(例:なぜ～? ～だからです。)

2020年7月24日 山形新聞

金色ドジョウ 連日発見

幼稚園のアルビノ、1カ所つ匹はまれ

金色のドジョウを見つけた園児
＝市内町会委員第四幼稚園

「この数字は何を表しているでしょう。」のように記事の内容を大きくまとめた中から問題を作ると、見出しを活用しながら新聞全体に目を通すことにつながります。

グループでクイズ新聞を作り交流することもできます。答えの解説も加えることで、出題者も解答者も答えの根拠を明確にすることができます。

教師がタブレット等に保存しておいた記事を活用すれば、学級全体やグループで同じ記事で取り組む際に便利です。

Q1 アルビノとは、どんな状態のことでしょう。

A1 生まれつき体の色素が欠乏している状態のこと。

Q2 この金色ドジョウは、なんという生き物のアルビノとみられているでしょう。

A2 ドジョウかシマドジョウのアルビノ。

Q3 アルビノが同じ場所で2匹発見されるのが珍しいのはなぜでしょう。

A3 アルビノは、野外で目立つため、天敵に見つかりやすく、生き残るのが難しいから。

3 新聞クイズを解き合う。

(15分×1回)

- ① お互いに作ったクイズを解き合う。(全体、グループ、ペア等)
 - ・ 問題になる新聞記事を読む時間を確保する。
 - ・ 解答者は記載したことと沿うよう、答えの根拠となる言葉や文も答える。
 - ・ 出題者が答えを言う際は、答えの根拠となる文章を示し、解説できるようにする。

ここがポイント!

答えや根拠となる文章が解答者と食い違ったときには、新聞記事に戻り一緒に確認します。

こんな方法もあります

- ・ 「この数字は何を表しているでしょう。」のように記事の内容を大きくまとめた中から問題を作ると、見出しを活用しながら新聞全体に目を通すことにつながります。
- ・ グループでクイズ新聞を作り交流することもできます。答えの解説も加えることで、出題者も解答者も答えの根拠を明確にすることができます。
- ・ 教師がタブレット等に保存しておいた記事を活用すれば、学級全体やグループで同じ記事で取り組む際に便利です。

<学習方法>

俳句で伝える

「この記事、いいね！」

(15分×3回)

- 1 記事を選び、俳句を作るために必要な情報を集める。(ワークシート)
(1～2までの活動を15分×2回 やり方がわかったら、児童のペースで進めます。)

- ① スクラップしておいた記事やストックしてある新聞から、気に入った写真入り記事を選ぶ。
② 写真や文章から分かる情報や感じたこと、季語などの俳句に使う言葉を吹き出しに書き込む。

ここがポイント！

写真(視覚的な情報)と文章(文字情報)を結び付けて読み取る。

俳句で伝える 「この記事、いいね！」

季語 水遊び

強い陽ざし 太陽キラキラ

はじける 笑顔

はじける水 きらきら

大はしゃぎ

30度越え 熱い

ふんすいの 水の勢い 水の玉

冷たくて気持ちいい

水遊び 気持ちいい 山形、鶴岡 連日猛暑日

11日の県内は高気圧に覆われて気温が上昇。最高気温は山形36.9度、鶴岡35.7度を観測し両地点は2日連続の猛暑日となった。他の地点も30～35度台を觀測し、山形地方気象台の22観測地点のうち18地点が今年一番の暑さとなった。

＝22面に掲載記事
同気象台によると他の地点の最高気温は高島35.3度、大町町左沢と米沢35.1度、東沢35.0度、新庄34.9度、酒田34.8度、尾花沢33.6度などで全般に平年より4～6度高い所が多かった。酒田、酒田市飛島、鶴岡市旗ヶ間の3地点は10日夕から11日朝にかけての気温が25度を下回らず熱帯夜になった。強い日差しが照り付ける中、天童市の道の駅・天童温泉内「わくわくランド」内にある噴水広場には多くの家族連れが訪れた。子どもたちは噴水の中に飛び込み、「冷たくて気持ちいい」と大はしゃぎで水の感触を楽しんでいた。

県内のこの先1週間(12～18日)は気圧の谷や曇った空の影響で曇りの日が多いが、最高・最低気温ともに平年並みか平年より高く、かなり高くなる日もある見込み。(斎藤淳一)

2020年8月12日 山形新聞

2 吹き出しに書いた言葉を使いながら、俳句を作る。(ワークシート) (15分×1回)

- ① 吹き出しに書いたことや感じたことから、伝えたい情報を選び俳句を詠む。

ここがポイント！

写真や記事から取り出した言葉(情報)を、伝えたい内容に合わせて取捨選択する。

つめたいよ
はじける笑顔
水遊び

2020年8月12日 山形新聞

【感想】

【感想】

【感想】

強い陽ざし
太陽ギリギリ

はじける
笑顔

はじける水
きらきら

大はしゃぎ

30度越え
熱い

俳句で伝える
「この記事、いいね！」

3 俳句を読み合い、感想を交流する。(15分×1回)

(感想の視点の例)

- 様子が伝わるなあと思う言葉や表現は？
- 記事の内容が伝わるかな？

(交流の例)

- グループで感想を話し合う。
- ワークシートや付箋等に感想を書く。

ここがポイント！

表現のよさや工夫とともに、記事の内容が伝わるかにも注目し、情報を正しく読み取っているかを確認する。

こんな方法もあります

- ・ 全員が同じ記事で取り組むことで、情報の取り入れ方や感じ方の違いを知ることができます。
- ・ 友達の俳句に寸評を書く活動を取り入れることもできます。新聞の俳句欄に掲載されている評を参考にする方法もあります。
- ・ 短歌でも同じように取り組むことができます。